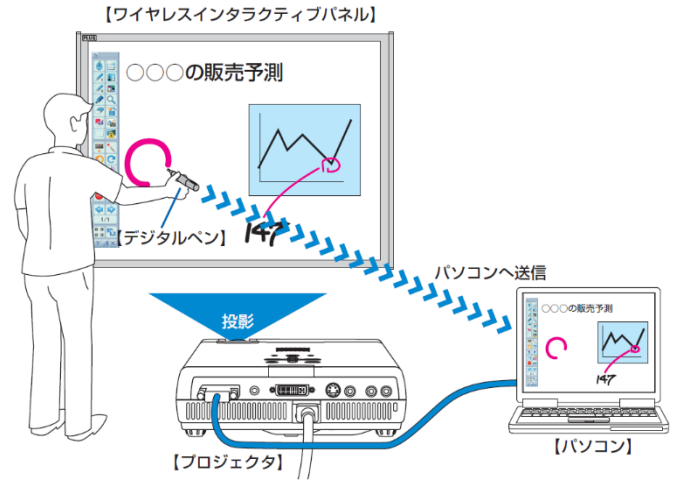


シート型電子黒板「UPIC2」使用準備 簡易マニュアル

持ち運び式電子黒板パネル 使用の流れ

- ① 付属のCD-ROM内のソフトウェアをパソコンにインストールします。(P.1)
- ② パソコンにデジタルペンを認識させます(ペアリング)。(P.2)
※パソコンにBluetoothが搭載されていない場合、別途Bluetooth USBアダプタが必要です。
- ③ パネルを設置します。(P.2)
- ④ プロジェクタ投影画面をパネルに合わせます。(P.2)
- ⑤ パソコンとプロジェクタの位置合わせをします。(P.3)
- ⑥ UPIC2ソフトウェアを起動します。(P.3)
- ⑦ UPIC2を使用します。(P.3)
- ⑧ 講義の録画データをSULMSにアップロードします。

【基本的な構成】



① 付属ソフトウェアのインストール

付属CD-ROMのメニューより「ソフトウェアのインストール」を選択するとUPIC2ソフトウェアがインストールされます。複数台のパソコンをネットワークに接続してUPICを共有して使用する場合は、共有するパソコン等にもインストールしてください。

UPIC2には下記のソフトウェアを付属しています。詳細は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



UPIC2ユーティリティ

デジタルペンでパソコンのマウス操作やパネルと投影画像の位置合わせを行うことができます。



UPIC2ソフトウェア ホスト版

デジタルペンでパネル上に、手書きで文字を書いたり、画像や図形を挿入できる描画ソフトウェアです。UPIC2ユーティリティと組み合わせて使用します。

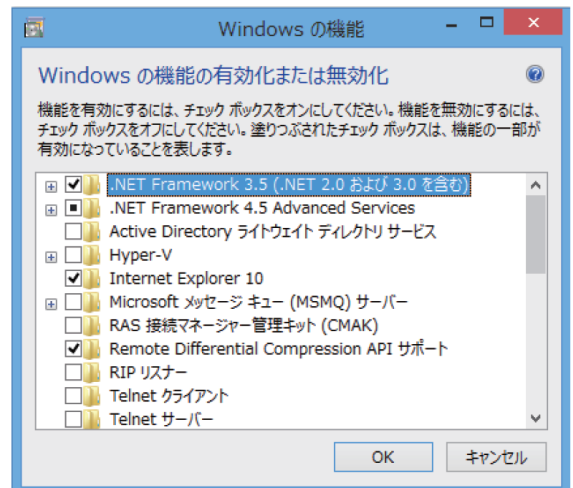


UPIC2ソフトウェア クライアント版

タブレットなどの端末から、ネットワーク内の他のパソコンで使用しているホスト版と画像や描画を共有し、手書き文字を書いたり、画像や図形を挿入できる描画ソフトです。

※UPIC2ソフトウェアをお使いいただくには、**Microsoft .NET Framework 2.0 の機能が必要となります。**インストールされていないか有効化されていない場合、下記の要領でこの機能をインストールして機能の有効化を行ってください。

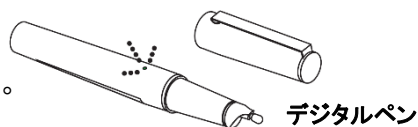
1. コントロールパネル→プログラムと機能→「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択し、Windowsの機能の有効化または無効化のチェックボックスにチェックを入れます。
2. 画面表示に従い、Windows Updateから必要なファイルをダウンロードして、インストール
3. パソコンを再起動してからUPIC2ソフトウェアのインストールを開始してください。



② デジタルペンとパソコンのペアリング

デジタルペンはBluetoothデバイスです。パソコンがデジタルペンを認識しないと相互の通信ができません。ここでは、Windows搭載のBluetoothスタックを使ったペアリングを説明します。

デジタルペンのキャップを外します。
デジタルペンの電源が入り、LEDが点滅することを確認します。



Windows8での登録

- 1.画面の右端からスワイプして、チャームメニューを表示します。
- 2.[設定]→[PC設定の変更]→[デバイス]の順に選択します。
- 3.[デバイスの追加]を選択し、検出した「ADP-301B」を選択します。
- 4.パスワード「0000」を入力し、「次へ」を選択します。
- 5.デジタルペンにキャップを付けます。デジタルペンの電源が切れ、接続が完了します。



Windows7での登録

- 1.[スタート]→[デバイスとプリンター]を選択します。
- 2.「デバイスの追加」を選択し、デバイス追加画面を表示します。
- 3.「ADP-301B」を選択し、「次へ」を選択します。
- 4.ペアリングコード「0000」を入力し、「次へ」を選択し、ウィンドウを閉じます。
- 5.デジタルペンにキャップを付けます。デジタルペンの電源が切れ、接続が完了します。



これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態になります。

③ 投影パネルの設置

- 1.ケースをホワイトボードに縦向きに磁着させ、安全フックをホワイトボード上面と壁面の間にあるスキ間に差し込みます。

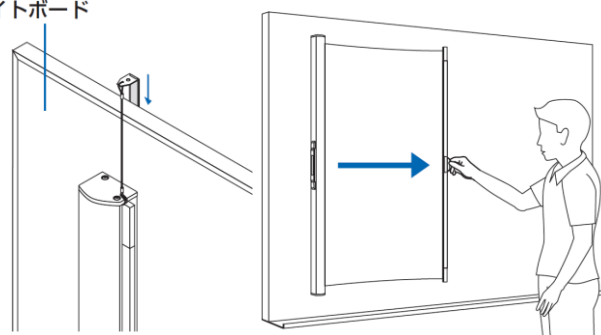
※ワイヤーを引っ張って、安全フックがしっかりとセットされているか確認してください。

- 2.その後、中央のつまみを持ち、スクリーンをホワイトボードの板面から離し手前側に引くようにしてゆっくり引き出してから、貼り付けます。

※貼り付け時に空気が入った場合は、一度剥がしてから貼り付け直してください。

- 3.貼り付け後、浮きあがる場合は補強用マグネットバーを、パネルの上辺と下辺に貼りつけてお使いください。

ホワイトボード



④ プロジェクターの投影位置合わせ

- 1.プロジェクターのリモコンの「フォーカス/ズーム」ボタンを押し、デジタルズーム調整画面を表示します。



デジタルズーム調整画面

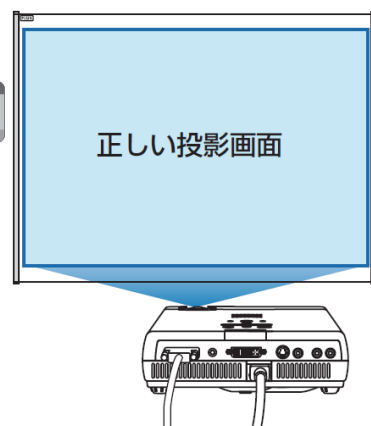
- 2.「◀▶」ボタンを押して投射画面の大きさを調整し、UPIC2の投影パネルの枠内に収まるようにします。

※画面調整の際、本体に触れないようご注意ください。

- 3.調整が終わったら「決定」ボタンを押します。



プロジェクターリモコン



⑤プロジェクトとの位置合わせ

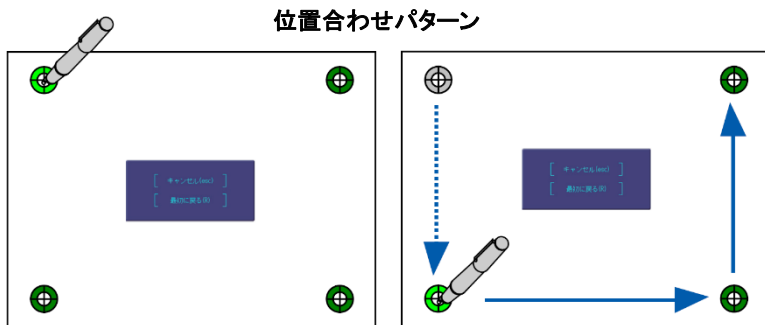
1. デジタルペンのキャップを外すと、自動でペンの電源が入り、パソコンと接続されます。
2. パソコンがデジタルペンとの接続を検出すると、シート上に位置合わせパターンが表示され、左上のパターンが点滅します。

※パターンが表示されない場合は、UPIC2ユーティリティから「位置合わせ」を起動してください。

3. 点滅している十字パターンの中心を、デジタルペンを使用して順に正しくタッチしてください。四隅のタッチが終了するとパターンが消えます。

※やり直すには、キーボードの[R]キーを押すと点滅が先頭に戻ります。

※キャンセルするには、キーボードの[Esc]キーを押してください。位置合わせを行わず終了します。



⑥UPIC2ソフトウェアの起動

UPIC2ソフトウェア ホスト版の起動









パソコンの[スタート]→[すべてのプログラム]→[PLUS UPIC2]→[UPIC2 ソフトウェア ホスト版]をクリックするか、またはWindowsデスクトップにある「ホスト版」のアイコンをダブルクリックすると立ち上がります。



⑦UPIC2ソフトウェア 基本の使い方

ソフトウェアを起動するとツールバーを表示します。ツールバーの詳しい使い方やUPIC2ソフトウェアの各機能の選択や設定は、UPIC2ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



- | | | |
|---|--------------|---|
|  | マウス | 入力モードをマウスモードに切り替え、パネルからペンでパソコンの操作を行います。 |
|  | 描画ツール | 入力モードを描画モードに切り替えます。
線や図形の画面への書き込みや、描いた線の消去を行います。 |
|  | 表示モード | クリックするごとに、表示モードを「ホワイトスクリーン」「透明スクリーン」が切り替えます。
透明スクリーンモード: 背景にパソコン画面が表示され、表示画面の上から書き込みができます。
ホワイトスクリーンモード: 背景が罫線の入った白画面になります。 |
|  | 図の挿入 | 図の挿入メニュー画面を表示します。
画像データの挿入、カメラデバイスからの画像の取り込み、UPIC2ライブラリからの画像の挿入(教具・素材・背景など)を行います。 |
|  | 保存 | 描画エリアのデータを保存します。
ファイルの種類は「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」形式のほか、独自形式の「.upic」が選択できます。 |
|  | 録画/停止 | 「録画」をクリックすると「停止」に変わり、描画や操作を記録します。
「停止」をクリックすると自動保存されます。
※録画データの保存先フォルダは「ドキュメント/UPIC2/Video」です。 |

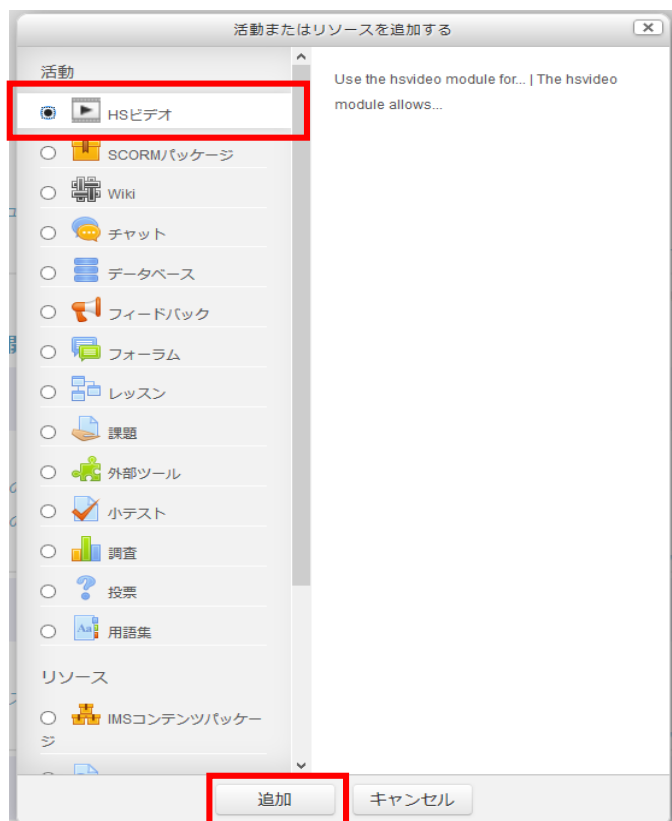
※動画をSULMSIにアップロードする場合は、保存形式を「.upv」から「.mp4」に変更してください。

⑧SULMSへの動画アップロード

1. 学習教育支援室へ動画のアップロードを依頼します。
その際、動画を学習教育支援室宛てにメールで送るか、USB等に入れて学習教育支援室までお持ちください。
学習教育支援室がストリーミングサーバーへアップロードし、ビデオファイル名を折り返しご連絡いたします。
2. 講義トップ画面右上の「編集モードの開始」をクリックします。
3. 動画を追加したいピックの[活動またはリソースを追加する]リンクをクリックします。



4. 「活動またはリソースを追加する」画面が表示されます。



5. 「HSビデオ」を選択し、[追加]ボタンをクリックします。「新しいHSビデオを・・・に追加」画面が表示されます。

6.以下の項目を入力します。

「HSビデオタイトル」:コース上での表示名です。

「説明」:設置する動画の説明です。

「ビデオファイル名(PC用)」:PCでアクセスした際に表示するファイル名を指定してください。

「ビデオファイル名(iPad用)」:モバイル端末でアクセスした際に表示するファイル名を指定してください。空欄の場合、PC用で指定されているファイルが参照されます。

※注意点

PC向けではmp4形式およびflv形式の動画に対応しております。

iPad向けではmp4形式の動画に対応しております。

新しいHSビデオを Section 1 に追加する

▶ 新しいHSビデオを Section 1 に追加する ②

▶ すべてを展開する

▼ 一般

HSビデオタイトル* ②

説明

コースページに説明を表示する ②

ビデオファイル名(PC用)

ビデオファイル名 (iPad用)

未再生箇所にシークバーを移動させる
ことを禁止する

動画閲覧状況のサーバ送信間隔(秒)

学習教育支援室から
連絡されたビデオ名
をそれぞれ入力。

7. [保存して表示する]ボタンをクリックします。動画が再生されるかを確認してください。